2011/3/14現在

	もともとの発生率または報告数：地域（1）、全国（2）	ワクチン接種率：地域（1）、全国（2）	地域・避難所で流行する可能性 1 = 低; 2 = 中; 3 = 高	公衆衛生上の重要性（罹患率・死亡率・社会的） 1 = 低; 2 = 中; 3 = 高	リスク評価 1 = 低リスク; 2 = 中リスク; 3 = 高リスク	コメント
水系/食品媒介感染症						
急性下痢症			3	2	3	ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症を含む
細菌性腸管感染症（サルモネラ、キャンピロバクター、病原性大腸菌など）			2	2	2	
A型肝炎			1	2	1	
E型肝炎			1	2	1	
動物/昆虫/ダニ媒介感染症						
レプトスピラ症			1	2	1	淡水、土壌曝露時に発症しうる
ツツガムシ病			1	2	1	春～初夏と秋～初冬の2回ピークがある
過密状態に伴う感染症						
急性呼吸器感染症			3	2	3	RSウイルス感染症、ヒトメタニュウモウイルス感染症、パラインフルエンザ感染症等を含む
インフルエンザ/インフルエンザ様疾患			3	3	3	
結核**			2	2	2	
ワクチンで防ぐことのできる感染症						
麻疹			2	3	3	
風疹			2	2	2	
ムンプス			2	2	2	
水痘			2	2	2	
破傷風*			2	3	3	創傷から感染する。ことに土壌・瓦礫などの曝露がリスクが高い
百日咳			2	2	2	
その他						
血液媒介疾患（B型肝炎/C型肝炎/HIV）*			1	2	1	ウイルス保有者の体液・血液曝露時に感染しうる
創傷関連感染症*			2	3	3	
ビブリオ・バルニフィカス感染症			1	1	1	海水曝露時に発症しうるが、海水温の低い時期のリスクは低い
エロモナス感染症			1	1	1	淡水曝露時に発症しうる

上記項目については今回は評価していない

*救助隊においてもリスクが高い

**急性期以降に問題となりうる

原図：WHO西太平洋地域事務所の情報をベースにしている